

「ポーツマス講和会議と小村寿太郎」 関係年表

2	1809	—	間宮林蔵、樺太探険で間宮海峡を発見。樺太が離島であることを実証	38	1905	1. 1 旅順陥落
3	1863	7. 2	英東洋艦隊、鹿児島を砲撃			2. 8 ル大統領、仏通じ露皇帝に講和勧告
1	1864	8. 5	英・仏・米・蘭四国連合艦隊、下関攻撃			3. 10 日本軍、奉天を占領
4	1868	1. 3	鳥羽伏見の戦い。戊辰戦争始まる			3. 16 ル大統領、高平小五郎駐米公使を招き、日本に講和の意思表示を促す
4	1871	11. 12	岩倉使節団、欧米に出発。福岡藩留学生金子堅太郎、女子留学生ら同行			3. 23 参謀総長山県有朋、「政戦両略概論」
8	1875	5. 7	ロシアと「樺太・千島交換条約」調印			3. 28 児玉満州軍総参謀長上京、元老・政府首脳に戦争の早期終結を訴える
		—	小村寿太郎、ハーバード大学留学			4. 8 閣議、今後の「作戦と外交方針」決定
10	1877	2. 15	西郷隆盛挙兵。西南戦争始まる			4. 21 日露講和条件の大綱を閣議決定
16	1883	9. 16	軍艦龍驤、遠洋航海から帰港。378人中169人が脚気にかかり、23人死亡			5. 27 日本海海戦。バルチック艦隊を破る
18	1885	12. 22	内閣制度創設。初代首相に伊藤博文			5. 30 小村外相、ル大統領に講和斡旋希望
21	1888	4. 30	伊藤、初代枢密院議長に			6. 2 大阪毎日、「講和の動き」を特報
23	1890	11. 25	第1回帝国議会。伊藤、貴族院議長に			6. 5 ル、駐露大使に「講和勧告」の打電
24	1891	5. 31	露、シベリア鉄道起工			6. 7 露皇帝、ル大統領の講和斡旋に同意
26	1893	11. 20	小村、清国臨時代理公使に			6. 9 ル大統領、日露両国に講和会議提案
27	1894	8. 1	日清戦争始まる			6. 10 日本政府、ル大統領提案の受諾回答
28	1895	4. 17	伊藤、李鴻章と下関講和条約調印			6. 11 戸水寛人ら東大7教授、「償金30億円、樺太、カムチャツカ、沿海州をとれ」
		4. 23	露、仏、独の三国干渉			6. 17 樺太作戦裁可される
		5. 5	日本、遼東半島の領有放棄			6. 27 講和会議開催地、ポーツマスに決定
29	1896	6. 3	露清密約。露は東清鉄道敷設権獲得			6. 28 露戦艦ポチョムキンで水兵反乱事件
30	1897	6. 26	海軍大尉秋山真之、米へ留学			6. 30 小村に対する政府訓令、閣議決定
31	1898	3. 27	露、旅順・大連を租借			7. 1 満州軍、占領地で日本人の営業許可
		9. 13	小村、駐米公使に			7. 7 日本軍、樺太南部上陸(31日全島占領)
32	1899	9. 6	米、中国の「門戸開放」を提唱			7. 8 小村ら全権団、ミネソタ号で渡米
		12. —	新渡戸稲造、米で「武士道」出版			7. 25 山県参謀総長、満州視察。各軍司令官を招集し協議◆小村、ニューヨーク着
33	1900	2. 23	小村、駐露公使に			7. 31 ウイッテら全権団、ニューヨーク着
		6. 20	義和団、北京の各国公使館包囲			8. 5 大統領ヨットで日露全権初顔合わせ
		8. 14	連合軍、北京を解放			8. 10 ポーツマスで日露講和会議始まる
		9. 15	伊藤、立憲政友会創設。初代総裁に			8. 15 会議は「樺太割譲」めぐり対立
		11. 9	露、ハルビン—旅順鉄道敷設権獲得			8. 17 日本側「絶対的必要条件」3項目通る
34	1901	6. 2	桂太郎内閣発足			8. 18 ウイッテ、小村に「樺太二分案」打診
		9. 14	米マッキンレー大統領暗殺。第26代大統領にセオドア・ルーズベルト			8. 22 ル大統領、金子に「多額の償金のために戦争を継続するな」と忠告の手紙
		9. 21	小村、桂内閣外相に就任			8. 23 小村、ウイッテの「樺太全島譲渡の代わりに償金放棄」の提案を拒否
35	1902	1. 30	日英同盟調印			8. 26 小村、「会議決裂ノ危機」を打電、政府最終決断を仰ぎ「戦争継続」を訴える
36	1903	4. 8	露軍、撤兵期限守らず満州に居座る			8. 28 閣議は「全面譲歩」を決め小村に訓令◆英大使より「露皇帝が樺太南半分譲渡に同意」の情報入り、修正訓令
		8. 29	露蔵相ウイッテ失脚			8. 29 日露講和「無償金、樺太南半」で妥結
37	1904	2. 4	御前会議、対露交渉打ち切りを決定◆伊藤、金子堅太郎に渡米工作を指示			9. 5 講和条約調印◆日比谷焼き打ち事件
		2. 6	露に国交断絶を通告			10. 14 日露講和条約批准
		2. 8	日本駆逐艦隊、旅順口を夜襲攻撃			10. 16 小村全権帰国
		2. 10	露に宣戦布告、日露戦争始まる			12. 20 韓国統監府設置。初代統監に伊藤
		2. 24	高橋是清、外債募集のため、金子と共に渡米◆末松謙澄はイギリスへ			11. 26 南満州鉄道会社(満鉄)設立
		6. 6	ル大統領、金子に「講和仲介」の意思	39	1906	12. 10 ル大統領にノーベル平和賞
		6. 20	満州軍総司令部編成。総司令官に大山巖、総参謀長に児玉源太郎			10. 26 伊藤、ハルビンで暗殺される。68歳
		8. 19	第1回旅順総攻撃始まる	42	1909	11. 26 小村死去、56歳
		9. 28	徴兵令改正。後備役5年を10年に延長	44	1911	
		10. 15	バルチック艦隊、リバウ軍港を出港			